

# 2024年(令和6年)度 事業報告書

2024年4月1日 ~ 2025年3月31日

2025年5月24日

公益財団法人日米医学医療交流財団

# 2024年(令和6年)度事業報告書

## 目 次

I. 2024 年度 事業報告	1
II. 2024 年度 事業詳細	4
公益目的事業	4
(1) 団体助成	4
(2) 個人助成	6
(3) JANAMEF セミナー	7
① WEB セミナー	7
② メールマガジン	7
③ 医学留学セミナー	8
(4) 茨城県指導医団国外派遣事業支援業務	12
(5) 埼玉県トップランナー医師育成留学支援事業支援業務	12
III. 2024 年度 評議員会・理事会議事	13
IV. 組 織	16
(1) 顧問・評議員・役員名簿	16
(2) 委員名簿	17
① 学術委員	17
② 研修助成の選考委員	17
③ 研究助成の審査委員	18
④ 広報委員	18
(3) 事務局	18
V. 事業報告の附属明細書	19

# I. 2024年度事業報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

2024年度事業は、2024年3月9日(土)開催の2024年度第6回定時理事会において承認された事業計画及び収支予算に基づいて実行し、その概要は以下のとおりである。

事業区分として、公益目的事業会計及び法人会計の2区分があり、本報告書はそれらの区分に基づいて作成している。

## 公益目的事業

○評議員会・理事会・委員会・セミナー等

1. 4月14日 第1回WEBセミナー
2. 4月30日 メールマガジン No.40 配信
3. 5月12日 第2回WEBセミナー
4. 5月19日 第1回定時理事会
5. 5月19日 第3回WEBセミナー
6. 5月31日 メールマガジン No.41 配信
7. 6月8日 第1回定時評議員会
8. 6月15日 第4回WEBセミナー
9. 6月28日 メールマガジン No.42 配信
10. 7月1日 2024年度会費及び寄附金納入依頼
11. 7月21日 第2回臨時理事会
12. 7月21日 第2回臨時評議員会
13. 7月21日 第5回WEBセミナー
14. 7月31日 メールマガジン No.43 配信
15. 8月5日～10日 医学部夏期集中医学英語研修
16. 8月31日 メールマガジン No.44 配信
17. 9月7日 第6回WEBセミナー
18. 9月30日 メールマガジン No.45 配信
19. 10月27日 第7回WEBセミナー
20. 10月30日 医学医療交流セミナー

21. 10月31日 メールマガジ No.46 配信
22. 11月10日 第8回WEBセミナー
23. 11月30日 メールマガジ No.47 配信
24. 12月21日 第3回臨時理事会
25. 12月21日 第9回WEBセミナー
26. 12月29日 メールマガジ No.48 配信
27. 1月19日 第10回WEBセミナー
28. 1月31日 メールマガジ No.49 配信
29. 2月9日 第11回WEBセミナー
30. 2月28日 メールマガジ No.50 配信
31. 1月30日 2024年度会費及び寄附金納入依頼
32. 3月15日 第3回理事会(定時)
33. 3月24日 第3回評議員会(臨時)
34. 3月31日 メールマガジ No.51 配信
35. 3月31日 2025年度助成の応募  
長期助成者3名

#### ○団体助成

1. 4月6日(土)～7日(日) 東京国際内視鏡ライブセミナー2024
2. 6月7日(金)～8日(土) 第42回日本肝移植学会学術集会
3. 8月3日(土)～4日(日) 第26回日本女性骨盤底医学会
4. 8月9日(金)～10日(土) 第56回日本医学教育学会大会
5. 9月19日(木)～21日(土) 2024年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会
6. 10月29日(火)～31日(木) 第83回日本公衆衛生学会総会
7. 11月4日(月)～6日(水) 第71回日本ウイルス学会学術集会
8. 11月29日(金)～30日(土) 第79回日本大腸肛門病学会学術集会

#### ○個人助成

1. 8月5日(月)～10日(土) 医学部夏期集中医学英語研修の助成(11名)
2. 11月12日(火)2024年度個人助成(1名)

## Ⅱ. 2024 年度事業詳細

2024 年度事業計画に基づき、公益目的事業として 8 件の団体助成、2 件の個人助成、12 件のセミナー、茨城県支援業務を実施したので詳細を以下に報告する。

---

### 公益目的事業

#### (1) 団体助成

##### 1. TOKYO Live2024(東京国際内視鏡ライブセミナー2024)

会期:2024 年 4 月 6 日(土)~7 日(日)

主催:東京国際内視鏡ライブセミナー2024

コース・ダイレクター:井上 晴洋(昭和大学江東豊洲病院 消化器センター)

会場:昭和大学江東豊洲病院9F 講堂

##### 2. 第 42 回日本肝移植学会学術集会

会期:2024 年 6 月 7 日(金)~8 日(土)

主催:第 42 回日本肝移植学会学術集会

集會会長:笠原 群生(国立成育医療研究センター病院長)

会場:浜松町コンベンションホール&Hybrid スタジオ

##### 3. 第 26 回日本女性骨盤底医学会

会期:2024 年 8 月 3 日(土)~4 日(日)

主催:第 26 回日本女性骨盤底医学会

会長:嘉村 康邦(昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター)

会場:パシフィコ横浜 会議センター

##### 4. 第 56 回日本医学教育学会大会

会期:2024 年 8 月 9 日(金)~10 日(土)

主催:第 56 回日本医学教育学会大会

大会長:沖永 寛子(帝京大学 副学長)

会場:帝京大学板橋キャンパス

##### 5. 2024 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会

会期:2024 年 9 月 19 日(木)~21 日(土)

主催:2024 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会

会長:堀江 義則(ケアイクリニック院長)

会場:シェーンバッハ・サボー

6. 第 83 回日本公衆衛生学会総会

会期:2024 年 10 月 29 日(火)～31 日(木)

主催:第 83 回日本公衆衛生学会総会

学会長:玉腰 暁子 (北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室教授)

会場:札幌コンベンションセンター、札幌市産業振興センター

7. 第 71 回日本ウイルス学会学術集会

会期:2024 年 11 月 4 日(月)～6 日(水)

主催:第 71 回日本ウイルス学会学術集会

会長:吉川 哲史(藤田医科大学 医学部 小児科学)

会場:ウインクあいち

8. 第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会

会期:2024 年 11 月 29 日(金)～30 日(土)

主催:第 79 回日本大腸肛門病学会学術集会

会長:船橋 公彦(東邦大学医学部外科学講座 一般・消化器外科学分野)

会場:パシフィコ横浜会議センター

## (2)個人助成

### 1. 助成(長期)助成者

(1)今井亮介

研修期間 2025年7月1日～2026年6月30日

留学先名 マサチューセッツ総合病院

### 2. 助成(短期)助成者

2024年度は応募なし

### 3. 医学部夏期集中医学英語研修

応募者：12名(1名辞退)

合格者：11名

期 間：2024年8月5日(月)～10日(土)(6日間)

主催および研修場所：Hawaii Tokai International College(HTIC)

協 力：ハワイ 聖ルカ・クリニック 小林恵一先生、神戸大学医学部、東海大学医学部

No.	氏 名	所 属 先
1	遠藤 栞里	名古屋大学(5年)
2	大野 進	順天堂大学(5年)
3	小原 直人	大分大学(5年)
4	咲本 瑞来	順天堂大学(5年)
5	佐地 朝日	新潟大学(5年)
6	下川 瑞起	群馬大学(5年)
7	高木 政志	順天堂大学(5年)
8	中井 遥希	慶応義塾大学(5年)
9	並木 雄央	東京大学(5年)
10	納谷 くるみ	福島県立医科大学(6年)
11	水野 隼	筑波大学(5年)

\*50音順

### 4. アメリカ短期看護研修

2024年度は募集せず。

### (3) JANAMEF セミナー

#### ① JANAMEF WEBセミナー

1. 佐藤絵梨 米国のSimulation教育と日本での展開
2. 三浦公嗣 日本の医療政策
3. 小玉正太 再生医療の今後の展望について-異種臓器移植医療をめざして-
4. 田邊一成 本邦における腎移植の最前線:湘南鎌倉総合病院における「あきらめない腎移植」について
5. 小林恵一 アメリカで起きている医療制度改革 日本ではほとんど知られていない過激な内容
6. 渡邊 剛 「心臓鍵穴手術」ロボット手術(ダビンチ手術)
7. 阿久津靖子 世界から学ぶ日本の地域包括ケア～文化に根ざした総合支援とDXの融合～
8. 赤津晴子 アメリカ医療の舞台裏
9. 北野泰斗 臨床医が公衆衛生を学ぶ意義ワクチン・感染症分野を中心に
10. 香取照幸 日英医療提供体制比較～英国に学ぶことと学べないこと～
11. 森川雅浩 米国プライマリーケアの最前線から

#### ② メールマガジン

- 1, 井汲 彰 茨城県指導医団国外派遣事業 参加報告
- 2, 小川徹也 JANAMEF から始まった私の国際化人生
- 3, 津久井宏行 2度目の渡米で、日米の医療事情について思うこと
- 4, 花田 諭史 アイオワ大学麻酔科からの近況報告
- 5, 森川雅浩 No Borders, Only Frontiers 米国臨床教育の現場から
- 6, 庄嶋健作 医療者が研究するためには  
～Physician-scientist を目指す中堅医師の葛藤～
- 7, 柳 秀高 ウェイクフォレスト大学 総合内科/ホスピタリスト部門訪問
- 8, 福永直人 私のカナダトロント大学留学:基礎研究から臨床への経験
- 9, 鈴木智晴 米国のホスピタリストシステムの視察から得た、  
日本版ホスピタリスト養成のヒント
- 10, 大沼 哲 臨床研究者として米国で生きる
- 11, 伊藤彰洋 日本での家庭医療実践を目指して、少し風変わりな開業医の近況報告
- 12, 紺野雄大 沖縄科学技術大学院大学(OIST)への研究留学

### ③医学留学セミナー

#### 日米医学医療交流セミナー報告

2024年11月30日(土)、医学留学セミナー《医学医療交流のダイバーシティ》はハイブリッド開催(現地開催とオンライン開催)となり、講師・司会等18名、受講生82名(医学生・初期研修医24名、医師その他58名)合わせて計100名が参加しました。

医学医療交流には様々な形があります。以前は、留学して得られた技術や知識を帰国後の研究、教育、診療に生かすことが主でした。しかし、現在は、海外で学ぶだけでなく、海外で長期に働くことや、海外から人を受け入れて、ともに学ぶことも多くなっています。また、インターネットやSNSを通して、距離を超えて世界のどこでも気軽につながることができるようになりました。さらには、医師だけでなく、医学生やコメディカルの医学医療交流も進んでいます。医学医療の国際交流は様々な形があり、これからは一人ひとりが自分にあった医学・医療の国際交流を自由に選ぶことができる時代です。本セミナーでは、新しい形の医学医療交流について、「海外で働く」「海外で学ぶ」「日本で交流する」の視点で、様々な立場からお話いただきました。

セミナーでは、山形大学医学部 公衆衛生学・衛生学講座 教授 今田恒夫先生の総合司会のもと、最初に山形大学医学部 学部長 永瀬智先生と日米医学医療交流財団 理事長 遠藤直哉先生から、海外留学の重要性に関して開会のご挨拶をいただきました。

〈セッション 1 海外で働く〉は、山形大学医学部 整形外科学講座 教授 高木理彰先生の司会で進められました。(日米医学医療交流財団専務理事/群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生は都合により欠席)

ハーバード公衆衛生大学院/福島県立医科大学 教授 後藤あや先生の講演は「私のキャリアパス形成」でした。後藤先生は11歳の時に父親の留学に伴ってアメリカ生活をしたことがきっかけとなり、山形大学医学部在籍中も熱帯医学ゼミに参加したり、国際保健に興味を持って海外へも頻回に出かけました。卒業後は産婦人科で臨床研修を行った後に、フルブライト留学生としてハーバード大学で公衆衛生の学位を取得し、その後は米国 population Council fellow、独立行政法人国際協力機構(JICA)専門家、JICAA 草の根事業などを続けてきました。その結果、今年初めからハーバード公衆衛生大学院 国際保健・人口学講座の教授に就任することとなりました。このように今までやってきたことが評価されてキャリアが形成されたという報告でした。

手稲溪仁会病院 総合内科部長 兼 臨床研修部部長 星哲哉先生による「海外で臨床医として働くために」では、2007年に6年間のアメリカ留学から帰国した後のことを中心にお話いただきました。アメリカ留学で得たものは、①教育への熱意、②豊富な臨床経験、③日本の良さの再認識、失ったものは、①手技力や画像診断力、②一人でやりきる力。海外で医師として働くために必要なことは、①変化と違いを受け入れる資質、②留学後に何をするか常に考えながら働くこと、③大切なことは留学で得たことを社会に還元すること。日米の架け橋になるために意識していることは、①日米双方を知りお互いの発展につなげること、②個人の経験と知識の伝聞には限界があり、前例の踏襲が次世代のためになるとは限らないこと、③留学できない人にも日本と米国の違いを知ってもらうこと。星先生はこのような思いを大切に、現在は手稲溪仁会病院とテキサス大学メディカルブランチ(UTMB)の共同プロジェクトを精力的に行っています。

セッション 1 の最後には、日米医学医療交流財団 理事長 遠藤直哉先生が「財団助成案内」として、①日米医学医療交流財団の歴史、②現在財団は幅広い留学に対して助成していることを紹介しました。

短時間の休憩をはさみ、

<セッション2 海外で学ぶ>では、山形大学医学部 解剖学第二講座 教授 後藤薫先生、日米医学医療交流財団理事／(独)国立病院機構 京都医療センター 院長 小池薫先生が司会を務めました。

山形大学医学部 外科学第二講座 中村健先生は「米国での基礎研究および心臓外科臨床留学を経験して」として、研究留学と臨床留学の両方の経験をお話してくださいました。中村先生は研究留学をアメリカ Stanford Thoracic Aortic Research Lab で行い、苦勞しながらもいい論文、研究発表をしましたが、次に行う予定のアメリカ臨床留学に向けての準備も同時に行いました。その後あらためて、クリーブランドクリニックで心臓外科のクリニカルフェローとして働きました。アメリカのトップ施設を見て感じたことは、①研究のトップ、臨床のトップ施設でも不得意な分野はある、②心臓外科の術者は年間 500 例が限界である、③日本の研究者は優秀である、④アメリカのエリートはハードワーカーで、日本のトップの人にとって昨今の働き方改革は足かせとなっている、との発表でした。

山形大学医学部 皮膚科学講座 助教 岡村賢先生の「私の米国留学 ～留学前・中・後にすべきこと～」では、留学前にすることは、①これまで自分がやってきた研究内容に沿う形で留学先を決定するか否か、②給料はもらえるかを確認、③自分が行う研究の筆頭著者になれるかを確認、④現地の日本人から居住地選定のアドバイスをもらうこと。留学中にすることは、①とにかく英語を話す、②さまざまな集まりに積極的に参加して友人を作る、③ボスの信頼を獲得する、④参加する研究プロジェクトは多い方がいい、⑤研究への向き合い方次第で帰国後の人生が変わることを意識する。留学後にすることは、①人脈を広げる、②研究を発展させる、③英語能力をさらに磨く。そして、海外留学は人生を豊かにしてくれるので、チャンスをつかみに行けとアドバイスしてくださいました。

山形大学医学部 内科学第一講座 医員 木下大資先生は「ハーバード大学附属マサチューセッツ総合病院の研究留学」と題して、アメリカボストンにあるマサチューセッツ総合病院で行った研究留学についてお話してくださいました。IK Kyung Jang 教授の教室では動脈硬化の進行や急性冠症候群発症メカニズムについて研究を行っているが、木下先生は Optical Coherence Tomography (OCT: 光断層計測) と心臓 CT を用いた研究を行い、苦勞はしたものの、留学中に筆頭著者として 8 本、共著者も含めると計 14 本の論文を書きました。そして留学を通して、その道の権威ある先生方が求めている「パズルの中で欠けているピース」を見つけて穴埋めする研究の重要性を理解できるようになり、自分自身の専門性を確立することができたと報告されました。

<セッション 3 日本で交流する>では、山形大学医学部 外科学第二講座 教授 内田徹郎先生、日米医学医療交流財団専務理事／群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春先生が司会を務めました。

山形大学医学部附属病院 看護師長 宇津木努さんは「看護・介護の国際交流～外国人看護・介護人材の活躍の現状～」において、外国人看護・介護人材の活躍の現状についてお話してくださいました。日本の在留外国人数は 340 万人で右肩上がりに増え、国別にみると、中国、ベトナム、フィリピン、ブラジル、ネパール、インドネシア、ミャンマーの順です。日本では要介護者は増えているのに介護職員は増えていませんが、日本の看護職員は増えています。外国人の働き方には、①経済連携協定 (EPA)、②留学・在留資格「介護」、③技能実習、④特定技能がありますが、宇津木看護師長は、川西湖南病院、みどりの大地 (特別養護老人ホーム)、みゆき会 (山形県上山市)、ときわ会 (福島県いわき市) を例に出して、現状を紹介してくださいました。日本と近隣諸国の間で外国人労働者の獲得競争が激しくなっている現在、日本におけるキャリア支援制度の充実、具体的には日本語の習得と金銭面の保証、が重要な課題であることを指摘してくださいました。

筑波大学附属病院研修医 紺野雄大先生は「日本国内での国際留学～沖縄科学技術大学院大学(OIST)での経験～」と題して講演してくださいました。学校法人沖縄科学技術大学院大学学園(OIST)は、国際的に卓越した科学技術に関する教育および研究を行うとともに、そのような教育研究によって、①沖縄の自立的発展に貢献すること、②日本と世界の科学技術の発展に貢献することを目的に設立されました。紺野先生は山形大学医学部6年生の時に1年間休学してOISTに行き、授業(神経科学、統計)を受け、実験(マウスの行動実験)を行い、国際学会でポスター発表を行いました。異なる文化的・学問的背景を持つ各国からの留学生に接し、この1年間で自分の価値観に与えた影響は大きく、今後の進むべき方向性も決まったとのこと。今後は初期研修を終えたのちに令和7年9月からOIST博士課程に進学し、「心はどう生まれるか」について研究を進める予定であることをお話してくださいました。

山形大学医学部4年 李禎斌(イ・ジョンビン)さんの「海外からの医学留学」では、韓国で生まれ育ち、25年間日本人とかかわりなく過ごしていましたが、2012年に修学旅行で初めて来日したことがきっかけとなり、2021年に山形大学医学部に入学され、その後の生活についてお話してくださいました。大学1、2年生の時にはあこがれていた日本の部活動文化に接し、雪が多く降る冬を初めて山形で経験しました。3、4年生の時には車を買って生活にも慣れた一方、韓国語が下手になってきて韓国文化に違和感を感じるようになるとともに、日本語も伸び悩んでいる気がするとのことでした。そのような複雑な現状ではあるけれどもこれからも頑張りますと締めくくってくださいました。

最後は、山形大学医学部 外科学第二講座 教授 内田徹郎先生ならびに日米医学医療交流財団 評議員 井上大輔先生から閉会の辞があり、セミナーは盛会のうちに終了しました。

今回は現地開催とオンライン開催を同時に行うハイブリッド開催でしたが、関係者の皆様にしっかり準備していただいたおかげで充実した内容となり、成功裏のうちに終了することができました。山形大学の皆様に心より感謝申し上げます。



ハイブリッド開催

公益財団法人 日米医学医療交流財団

2024年 医学医療交流セミナー

共催：山形大学医学部

## 医学医療交流のダイバーシティ

日時：2024年11月30日(土) 13:00~17:00

会場：山形大学医学部 50周年記念講堂 および Zoom 開催 (ハイブリッド)

### — プログラム —

(2024.6.3 現在)

13:00	総合司会 開会の辞 (公財)日米医学医療交流財団 理事長	山形大学医学部 公衆衛生学・衛生学講座 教授 山形大学医学部 学部長	今田 恒夫 永瀬 智 遠藤 直哉
13:20~14:20	セッション1 海外で働く 【司会】山形大学医学部 整形外科学講座 教授 財団専務理事/群星沖縄臨床研修センター長	山形大学医学部 公衆衛生学・衛生学講座 教授	高木 理彰 徳田 安春
13:20~13:45	●「私のキャリアパス形成」 【講師】ハーバード公衆衛生大学院/福島県立医科大学 教授		後藤 あや
13:45~14:10	●「海外で臨床医として働くために」 【講師】手稲溪仁会病院 総合内科部長 兼 臨床研修部部长		星 哲哉
14:10~14:20	●財団助成案内 【講師】(公財)日米医学医療交流財団 理事長		遠藤 直哉
— 休憩 (10分) —			
14:30~15:30	セッション2 海外で学ぶ 【司会】山形大学医学部 解剖学第二講座 教授 財団理事/(独)国立病院機構 京都医療センター 院長	山形大学医学部 解剖学第二講座 教授	後藤 薫 小池 薫
14:30~14:50	●「米国での基礎研究および心臓外科臨床留学を経験して」 【講師】山形大学医学部 外科学第二講座		中村 健
14:50~15:10	●「私の米国留学 ~留学前・中・後にすべきこと~」 【講師】山形大学医学部 皮膚科学講座 助教		岡村 賢
15:10~15:30	●「ハーバード大学附属マサチューセッツ総合病院の研究留学」 【講師】山形大学医学部 内科学第一講座 医員		木下 大資
— 休憩 (10分) —			
15:40~16:40	セッション3 日本で交流する 【司会】山形大学医学部 外科学第二講座 教授 財団専務理事/群星沖縄臨床研修センター長	山形大学医学部 外科学第二講座 教授	内田 徹郎 徳田 安春
15:40~16:00	●看護・介護の国際交流「外国人看護・介護人材の活躍の現状」 【講師】山形大学医学部附属病院 看護師長		宇津木 努
16:00~16:20	●日本国内での国際留学「沖縄科学技術大学院大学(OIST)での経験」 【講師】筑波大学附属病院研修医		紺野 雄大
16:20~16:40	●海外からの医学留学 【講師】山形大学医学部4年		李 禎斌
16:40~17:00	閉会の辞 (公財)日米医学医療交流財団 会長	山形大学医学部 外科学第二講座 教授	内田 徹郎 高瀬 義昌

(4) 茨城県指導医団国外派遣事業 支援業務

**Ibaraki Hawaii Internship 2024**  
**茨城県指導医団国外派遣事業 (ハワイ)**  
2024/12/1(Sun) ~2024/12/7(Sat)  
7days and 5 nights

研修先一覧

	研修先機関名	研修先住所	代表者	電話番号
1	SimTiki Simulation Center John A. Burns School of Medicine University of Hawaii ハワイ大学 シムティキシミュレーショ ンセンター	651 Ilalo Street Honolulu, HI 96813- 5534	① Dr. Ben Berg ② Ms. Mari Nowicki	① 808-779-5651 ② 808-692-0841
2	Office of Medical Education John A. Burns School of Medicine University of Hawaii (JABSOM) ハワイ大学 医学部	651 Ilalo Street MEB 3 <sup>rd</sup> Floor Honolulu, HI. 96813-5534	① Dr. Richard Kasuya ② Ms. Kori-Jo Kochi	808-692-0929
3	Queen's Medical Center クィーンズメディカルセン ター	1301 Punchbowl St, Honolulu, HI. 96813	Dr. Masayuki Nogi	808-586-7482

(5) 埼玉県トップランナー医師育成留学支援事業 支援業務

開催なし

### Ⅲ. 2024年度評議員会・理事会議事

#### 第1回 定時理事会

日時:2024年5月19日(日)10:00

場所:財団事務所ハイブリットによる Web 会議

##### 審議事項

1. 2023年度事業報告の承認
2. 2023年度決算報告の承認
3. 助成制度運営規則の改正
4. 役員等推薦手続き規則の改正
5. 広報委員規則の改正
6. 次回評議員会開催について

##### 報告事項

1. 2024年度個人助成(前期)報告
2. 顧問・理事・委員の辞任と就任
3. 直近の事業報告
4. 会員の入退会状況
5. 代表理事等の職務執行状況の報告

#### 第1回 定時評議員会

日時:2024年6月8日(土)16:00

場所:財団事務所による Web 会議

##### 審議事項

1. 2023年度決算書類承認の件
2. 任期満了による評議員の選任
3. 任期満了による監事の選任
4. 理事7名の選任

##### 報告事項

1. 2023年度事業報告
2. 助成制度運営規則の改正
3. 役員等推薦手続き規則の改正
4. 広報委員規則の改正
5. 2024年度個人助成(前期)報告
6. 顧問・理事・委員の辞任と就任
7. 直近の事業報告
8. 会員の入退会状況
9. 代表理事などの職務執行状況の報告

## 第2回 臨時理事会

日時:2024年7月21日(日)9:00～

場所:財団事務所によるWEB会議

### 議題事項

1. 助成運営規則改正案及び運用予定、財産目録、贈与型奨学金予定、混合型奨学金予定
2. 環太平洋アジアファンド規則改正案
3. 研修助成の選考委員会規則改正案及び委員選任案
4. 研究助成の審査委員会規則案及び委員選任案
5. 広報委員会委任選任案
6. 学術委員選任案及び記念事業文案

## 第2回 臨時評議員会

日時:2024年7月21日(日)

場所:財団事務所によるWEB会議

### 議題事項

1. 助成運営規則改正案
2. 環太平洋アジアファンド規則改正案
3. 選考委員会規則改正案
4. 選考委員会委員選任案
5. 広報委員委任選任案
6. 学術委員選任案

## 第3回 臨時理事会

日時:2024年12月21日(土)10:00

場所:財団事務所によるWeb参加

### 議題事項

1. 2024年度半期決算
2. 助成制度運営規則一部改正
3. 2025年度留学セミナー

### 報告事項

1. 2025年3月15日説明会開催
2. 法人会員入会要請の状況

## 第4回 理事会

日時:2025年3月15日(土)

場所:喜山倶楽部芙蓉の間ハイブリットWEB会議

### 審議事項

1. 2025年度事業計画案

2. 2025 年度収支予算案
3. 役員等賠償責任保険の付保
4. 2025 年度の運用対象債券の検討基準

報告事項

1. 国際交流助成(留学セミナー)
2. 研修内容詳細 茨城県事業
3. WEB セミナー
4. メールマガジン配信

## 第2回 臨時評議員会

議題

1. 2025 年度事業計画案
2. 2025 年度収支予算案
3. 役員等賠償責任保険の付保
4. 2025 年度の運用対象債券の検討基準

報告事項

1. 国際交流助成(留学セミナー)
2. 研修内容詳細 茨城県事業
3. WEB セミナー
4. メールマガジン配信

## IV. 組織

### (1) 顧問・評議員・役員名簿（顧問 3 名、評議員 10 名、理事 15 名、監事 1 名）

役 職	氏 名	職 業（所 属・役 職）
顧 問	松本 吉郎 小玉 正智 伴 信太郎	公益社団法人日本医師会 会長 滋賀医科大学 名誉教授、本財団元会長 中津川市地域総合医療センター センター長
評 議 員	池田 俊也 井上 大輔 田邊 一成 中村 智宏 野島 廣司 野村 実 松村 理司 三ツ浪真紀子 三好 智子 山本 悟	国際医療福祉大学医学部教授 神奈川歯科大学短期大学部 学長 湘南鎌倉総合病院 ロボット手術・臓器移植センター センター長 (弁)フェアネス法律事務所 弁護士・薬学修士 株式会社ノジマ 取締役兼代表執行役社長 CEO (医)成和会西新井病院院長 東京女子医科大学名誉教授 洛和会 本部参与 ハーバード公衆衛生大学院博士研究員 京都大学医学研究科准教授 湘南藤沢徳洲会病院 眼科部長
会 長	高瀬 義昌	(医)至高会たかせクリニック 理事長
理 事 長	遠藤 直哉	(弁)フェアネス法律事務所 代表弁護士
専務理事	徳田 安春	群星沖縄臨床研修センター長
理 事	小池 薫 香取 照幸 小玉 正太 宮崎 泰成 山下 雅知 片岡 仁美 小嶋 高志 小林 恵一 立川 幸治 田中 秀一 山内 豊明 和足 孝之	京都岡本記念病院救急科参与、医療法人社団昂会顧問、 京都大学名誉教授、京都医療センター名誉院長 上智大学 総合人間科学部社会福祉学科 教授 一般社団法人未来研究所 臥龍 代表理事 福岡大学理事・医学部長、再生・移植医学講座教授 東京科学大学統合呼吸器病学教授 公益財団法人井上育英会評議員 京都大学医学研究科教授 (弁)フェアネス法律事務所 医師・弁護士 ハワイ聖ルカ・クリニック院長 タチカワ&アソシエイツ院長 元国際医療福祉大学教授医療福祉学部長 放送大学 教授 京都大学附属押印准教授
監 事	小笠原 和也	小笠原会計事務所所長 公認会計士・税理士

(2) 委員名簿

① 学術委員(20名)

役 職	氏 名	職 業 ( 所 属 ・ 役 職 )
委 員 長	井上 大輔	神奈川歯科大学短期大学部 学長
委 員	矢崎 義雄	東京医科大学理事長
	田中雄二郎	東京科学大学学長
	橋本 岳	衆議院議員、元厚生労働副大臣
	新谷 正義	衆議院議員、(医)晴生会理事長
	古川 俊治	参議院議員、慶応義塾大学医学部外科教授
	飯田 政弘	東海大学常務理事・病院本部長
	井樋 栄二	東北労災病院院長、東北大学名誉教授
	上野 義之	国立大学法人山形大学医学部長
	大石 公彦	東京慈恵会医科大学小児科教授
	粕谷 英樹	名古屋大学大学院医学系研究科教授
	窪田 等	杏林大学医学部心臓血管外科教授
	小山 勇	埼玉医科大学専務理事
	祖父江 元	愛知医科大学理事長・学長
	高本 眞一	元東京大学医学部心臓血管外科教授
	田邊 一成	湘南鎌倉総合病院臓器移植センター長
	中川 隆雄	(医)軽井沢西部総合病院名誉院長
	林 由起子	東京医科大学病態生理学分野教授、
	丸山 徹	九州大学名誉教授(社医)原土井病院副院長
	宮崎 泰成	東京科学大学統合呼吸器病分野教授

③ 研修助成の選考委員(8名)

役 職	氏 名	職 業 ( 所 属 ・ 役 職 )
委 員 長	小池 薫	京都岡本記念病院救急科参与、医療法人社団昂会顧問、京都大学名誉教授、京都医療センター名誉院長
委 員	赤津 晴子	国際医療福祉大学医学部 教授、医学教育統括センター長、 成田キャンパス国際交流センター長
	阪井 裕一	埼玉医科大学総合医療センター 小児科 教授
	D.サターホフ	前 CIEE 京都 センターディレクター
	町 淳二	ハワイ大学医学部外科 教授 国際医療医学オフィス 日本担当部長
	小嶋 高志	(弁)フェアネス法律事務所医師・弁護士
	山本 悟	湘南藤沢徳洲会病院 眼科部長
	野村 実	(医)成和会西新井病院院長、東京女子医科大学名誉教授

### 研究助成の審査委員(7名)

役 職	氏 名	職 業 ( 所 属 ・ 役 職 )
委 員	井上 大輔	神奈川歯科大学短期大学部 学長
	中村 智広	(弁)フェアネス法律事務所弁護士・薬剤師
	香取 照幸	兵庫県立大学大学院特任教授、一般社団法人未来研究所 臥龍 代表理事
	山内 豊明	放送大学 教授
	川内 秀之	鳥取大学名誉教授
	小林 美亜	山梨大学特任教授
	吉田 学	元厚生労働事務次官、多摩大学医療・介護ソリューション研究所客員教授

### ④広報委員(6名)

役 職	氏 名	職 業 ( 所 属 ・ 役 職 )
委 員	山下 雅知	公益財団法人井上育英会評議員
	青木 眞	感染症コンサルタント
	小玉 正太	福岡大学理事・医学部長、再生・移植医学講座教授
	田中 秀一	元国際医療福祉大学教授医療福祉学部長
	奥山 美奈	株式会社サクセスコーチング
	小泉 俊三	佐賀大学名誉教授

### (3)事務局

常勤職員1名

2025年3月31日現在

## V. 事業報告の附属明細書

2024年(令和6年)度事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。